

千代田図書館

千代田区立
千代田図書館
情報誌

さあ	◆◆◆
図書館に	
いこう。	

vol.4

窓からの景色は緑豊かな北の丸公園。

千代田図書館で本を借りたら、

お濠を渡り、清水門をくぐって公園へ。

空の下でゆっくり読書をしたり、

図鑑を手にして自然観察の散歩もできます。

緑の中で本と過ごしてみたいかがでしょう。

新しい発想が生まれるかもしれません。

千鳥ヶ淵編

見晴らしの良い読書空間

「区民の書齋ゾーン」特集

図書館コンシェルジュの街案内

コンシェルジュがゆく

表紙 小川 哲

千代田探し

さまざまな分野で活躍中の
“千代田人”に聞きました

神田明神(神田神社)宮司 大鳥居信史さん

神田明神(神田神社)宮司 大鳥居信史

昭和14年東京生まれ。昭和37年國學院大學文学部文学科卒業。明治神宮に奉職その後、神田明神に移り昭和62年宮司就任。学校法人熊野学園理事長、財団法人神道文化会評議員、学校法人國學院大學評議員、社団法人日本国際青年文化協会監事、東京都神社庁顧問他



「千代田探し」第3回目は、東京一神田、日本橋、秋葉原、大手町、丸の内など108ヶ町の総氏神様である神田明神(神田神社)の宮司・大鳥居信史さんです。

「図書館は限りない知識の宝庫」いまでも訪ねると時間の過ぎ去るのを忘れてしまいます。私の奉職する神田明神は「江戸名所図会」という江戸幕府が編纂した地誌に「唯一にして江戸の総鎮守」と記され、江戸文化ゆかりの地でもあります。江戸が東京に改称されて、まだ140年しか経過していませんが、江戸の面影は近代都市東京からすっかり失われてしまいました。私が皆様にご紹介したい本は「逝き世の面影」渡辺京二著(平凡社)です。本書は、失われた美しい江戸文化へ限りない哀惜をこめたレクイエム(鎮魂曲)といっても過言ではない好著です。本書は日本人が近代文明を得る見返りとして見失ってしまった大切なものが、どれだけ沢山あったかを気づかせてくれる最良の本でもあります。幕末期に日本を訪れた外国人たちの日本に対するさまざまな評価に驚かされます。チェンバレンは「古い日本は妖精の住む小さくてかわいらしい不思議の国であった」と語り、またヒュースケンは「この国の人々の質樸な習俗とともに、その飾りけのなさを私は賛美する。その国土のゆたかさを見、いたるところに満ちている子供たちの楽しい笑声を聞き、そしてどこにも悲惨なものを見いだすことができなかつた」と語っている。さらに「いまや私がいとしさを覚えはじめている国よ。この進歩はほんとうにお前のための文明なのか。私は、おお、神よ、この幸福な情景がいまや終わりを迎えようとしており、西洋の人々が彼らの重大な悪徳をもちこもうとしているように思われてならない」と欧米人がもたらした近代文明が、日本の幸せな文化を滅ぼしてしまうだろうと哀惜を以て独白している。チェンバレンはさらに「一般的に言って、教育ある日本人は彼らの過去を捨ててしまっている。彼らは過去の日本人(今でも部分的には過去の日本人

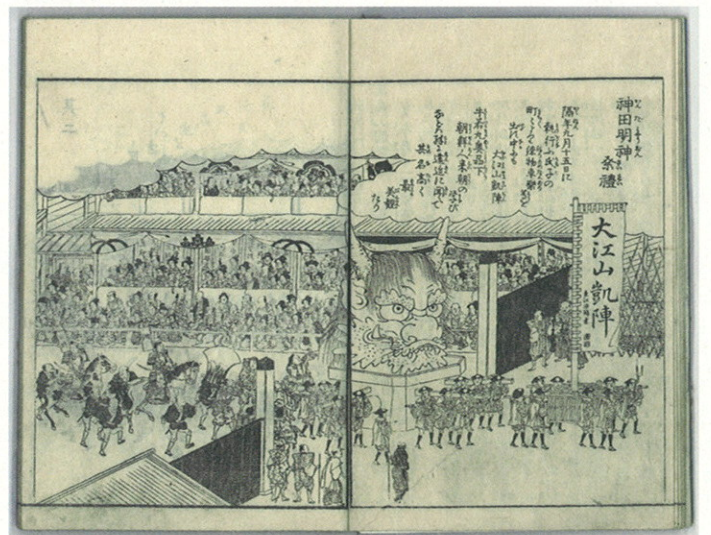
なのだが」とは別の人間、別のものになろうとしている」と厳しく日本人の変わり身の早さをも指摘している。ぜひ図書館で、本書を手にとって読んでみてください。かつてこの千代田区こそが、江戸の中で最も江戸らしい風情を醸していた美しい地域であることに改めて気がついていただくことができれば幸いです。新しい千代田図書館は、失われた私たちの過去を学ぶに最も相応しい絶好の場所だと思います。



神田明神資料館 2年に1度の神田祭が今年5月7日～15日に開催されます。境内にある資料館には、ジオラマや山車の模型などがあり、神田祭のすべてがわかります。



「逝き世の面影」
渡辺京二著 平凡社



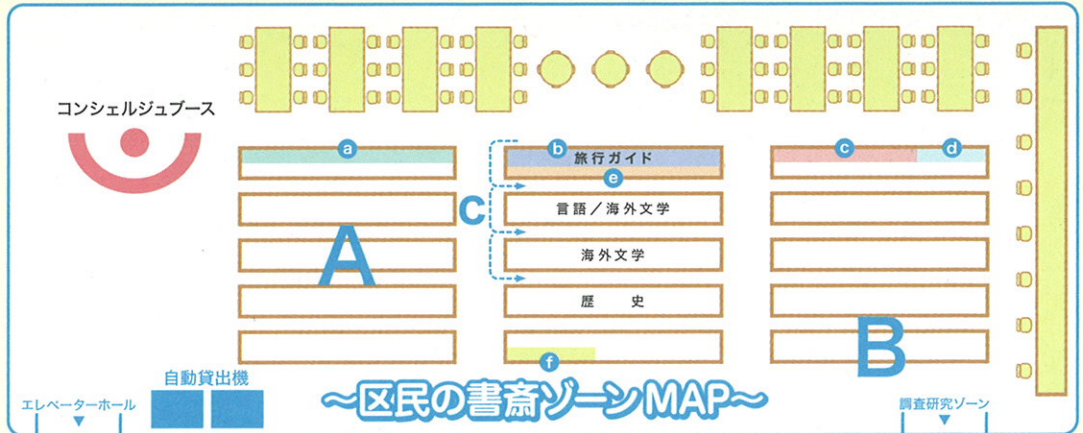
「江戸名所図会」大江山鬼退治の故事にちなんだ山車行列「大江山凱陣」のようす。



「一般開架ゾーン」区民の書齋」活用術!

コンセプト「区民の書齋」

静かに読書や学習をするための空間です。円卓以外の閲覧席では、LANケーブルでインターネットに接続ができます。



①本が番号順に並んでいない理由

千代田図書館では、本が番号順に並んでいないので、探しにくいと感じられるかもしれませんが、皆さまの興味の対象、アイデアが広がり、より多くの本を手にとりいただけるように、千代田図書館ならではの並べ方にしています。

●書棚の配置にひと工夫

A もっとも貸出の多い日本の小説類を、エレベーターに近い棚に並べる

B 調査研究ゾーンに一番近い、研修室側の通路を通り抜けたところに、ビジネスパーソンの利用頻度が高い政治、法律、経済、金融など社会科学の本を並べる

●各書棚の間につながりをもたせる

例えば・・・旅行のガイド本を見た方が、各国のことや歴史、文学にも興味を広げてもらえるような、流れのある配置

●ジャンルごとにまとめた書棚があります

a 中高生：ティーンズ向けの本です。請求記号YAで始まる本はこちら。

b 地理・紀行、旅行ガイド：旅に関する本はこちら。請求記号290番台です。

c 家庭・裁縫・手芸・料理・育児：請求記号590番台です。

d 通信工学・情報工学：Windows、Macintosh、Word、Excelなどパソコン関連の本はこちら。

e 外国語図書(Foreign Books)：英語・中国語・韓国語・ドイツ語・フランス語の本 ※英語の絵本は10階=子ども室にあります。

f 大明堂：地理学専門の出版社「大明堂」(2004春に廃業)より寄贈いただいた本です。請求記号Dで始まる本はこちら。

②コンシェルジュブース

館内の総合案内と千代田区の街案内を行っています。ブースでは「コンシェルジュおすすめ本(貸出可)」や、飲食店を中心とした街の情報ファイル、各種チラシなどをご用意していますので、ぜひ手にとってご覧ください。千代田区にはこんな店があるよ!といった、皆さまからの情報も大歓迎です。お気軽にお声がけください。

●図書館ガイドツアー(約20分)

館内設備の利用方法や千代田Web図書館の操作方法、千代田図書館のコンセプトなどについてご説明します。(随時受付)

●新品図書購入のお手伝い

図書館で読んで気に入った本、所蔵のない本の購入をお手伝いします。コンシェルジュが神保町の提携書店に在庫の確認をします。在庫がある場合は、書店カウンターに取り置きをお願いすることができるので、書店にてご購入ください。

●古書店のご案内

版元にはないような古い本、絶版本などはいくつかの古書店データベースを使って検索します。お探しの本が明確でない場合や、ご興味のある分野の古書店巡りをしたい場合もご相談ください。

●各種図書館のご案内

国立国会図書館、都立図書館、各種専門図書館、大学図書館のご案内をいたします。

●千代田区の街案内

千代田区には美術館や博物館、ホールなどの文化施設が多く、催事・イベントも多数行われています。本を読むのに最適な喫茶店、隠れ家的なレストランなどの飲食店情報はじめ、コンシェルジュ自らが歩いて見つけた各種店舗情報、おすすめスポットなどもご紹介いたします。

●館外での活動

神保町にある「本と街の案内所」(住所:神田神保町1-7-7 / 時間:年末年始、お盆休みを除く毎日11~17時)で、本探しのお手伝いや近隣の食事処などのご紹介をしています。





図書館コンシェルジュは、皆さまにより図書館に親しんでいただけるよう、館内の総合案内だけでなく、千代田区の街案内も行っています。館内の見どころや利用方法をご説明するガイドツアー、近隣の飲食店・イベント情報なども好評。このコーナーでは、図書館コンシェルジュが区内で見つけたおすすめの間所をご紹介します。今回は、桜の見所として有名な千鳥ヶ淵の周辺です。花見以外にも楽しめるところが実はたくさんあるんですよ！

ギャラリー冊[さつ]

住所 九段南2-1-17
 電話 03-3221-4220
 H P <http://www.satsu.jp/>
 営業 11:00~19:00/月休、他不定休
 ※全席禁煙

落ち着いた雰囲気の内には、工芸作品を中心に紹介するギャラリースペースとカフェのほか、約6千点の文庫本が並ぶ書棚空間「糸宿房[ししゅくぼう]」と、約4千点の全集が並ぶ書棚空間「冊集居[さつしゅうきょ]」があります。本の購入はできませんが、閲覧は自由。中には絶版の文庫本もあります。カフェでは、月の満ち欠けによってハーブのブレンド内容が変わる「ムーンティ」のほか、心身ともにリラックスできる飲み物(お茶菓子付)がいただけます。壁一面のガラス窓からはたっぷりと陽が差し、とても居心地の良い空間です。各界からゲストを招いてのトークショーと参加者同士の交流会「夜のサロン」も1月で開催されています。



文庫本が並ぶ「糸宿房」



二松学舎大学13階レストラン

住所 三番町6-16
 二松学舎大学九段キャンパス13階
 電話 03-3261-4151(通常期)/
 03-3261-6921(さくら祭り期間中)
 H P <http://www.nishogakusha-u.ac.jp>
 営業 平日のみ ランチ11:00~14:00、
 ティー14:00~16:00 ※全席禁煙

※さくら祭り期間のメニュー・営業時間は変更になります。休みについては要問合せ。

二松学舎大学の最上階に、一般の方も利用できるレストランがあります。全面ガラス張りですっきりとした眺め!「千代田のさくらまつり」期間中は夜も営業しており、たくさんのお客で賑わうそうです。シェフによる、イタリアン中心のランチは、日替り、肉または魚料理、パスタ、ハンバーグの3種類。すべてにドリンク(お替り自由)、サラダ、デザートが付きます。デザートも日替り、手作りのプリンやティラミスなどが楽しめます。ティータイムは、350円でコーヒー・紅茶がお替り自由(セルフサービス)。ここでお茶をしながら読書に耽るのも良さそうですね。



バスタセット(パン付き)¥980

八百三番町[やおさんばんちょう]

住所 三番町28-4
 電話 03-5211-5975
 H P <http://yaosanbancho.web.officelive.com>
 営業 月-土10:00~17:00/日祝休

完全無農薬で無化学肥料、自然農法によって育てられた野菜(主に根菜と葉もの)の産直販売店。ここが、農家と消費者を直接つなぐ場所になっています。自分が食べる野菜はどこの誰が作ったもので、どんな土で育ったのかを改めて考えるきっかけになりますね。17時以降と火・土曜日以外は無人ですが、購入は可能。併設する「SAN BAN CHO CAFÉ」でもこの野菜が使われています。土曜限定の「シェフランチ」は、シェフがその日届いた野菜を見てからメニューを決めるようなので、特におすすめです!



店は「SAN BAN CHO CAFÉ」入口左。

日本カメラ博物館

住所 一番町25 電話 03-3263-7110
 H P <http://www.jcii-cameramuseum.jp/>
 営業 10:00~17:00/月休(月曜が祝日の場合は火休)
 料金 博物館のみ300円、他は無料

元はカメラの輸出検査等を行っていた日本カメラ財団(JCII)が運営する博物館。小さいけれど中を覗いてびっくり! 常設展には約300点の日本のカメラが並び、幕末から現代までの歴史をたどることができます。また、世界初のカメラ「ジルー・ダゲレオタイプカメラ(1839年 フランス製)」の実物が見られるのは日本国内でここだけです。特別展は様々な切り口から企画され、マニアでなくとも楽しめます。併設のライブラリー(平日開館)には、カメラと写真に関するものなら最新の雑誌から、貴重書まで幅広く所蔵し、カード目録やインターネットでの検索が可能です。写真は時代の証言者。歴史好きの方や、仕事の資料探しに利用される方も多いそうです。



ライブラリー



世界初のカメラ「ジルー・ダゲレオタイプカメラ(1839年フランス製)」



イタリア文化会館 図書室

住所	九段南2-1-30 イタリア文化会館ビル2階
交通	九段下駅2番出口より徒歩10分
時間	月10:00~18:30/火木金~18:00/水~19:30/ 土~16:30 ※13:00~14:00は入館不可
休館	日休、他不定休
閲覧	無料(登録不要)/開架式(一部閉架)
貸出	イタリア語コース受講生は無料、それ以外の方は 要登録(年間2千円)/図書3冊3週間、録音・映像2点1週間
書籍	約1万5千点(日本語5千点/イタリア語1万点)
その他	イタリア語雑誌52誌 主要日刊紙2紙 CD、CD-ROM約250点 DVD500タイトル以上
席数	約15席
問合せ	03-3264-6011(内線23)



コーヒーコーナー

©Amantini

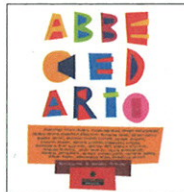


「イタリア関係図書目録」
イタリア文化会館図書室が1978年から毎年刊行している
「イタリア関係図書目録」は、日本で刊行されたイタリア関係
図書だけでなく、雑誌記事や論文までもほぼ網羅しています。
(2004年~2006年版はホームページでも公開中)

日本の伝統色「朱」をイメージしたという、真っ赤な格子模様の外壁が目印の「イタリア文化会館 東京」2階にあり、誰でも自由に閲覧できます。入ってすぐの部屋には辞書・事典類や日本文学のイタリア語版が並び、奥の部屋にメインとなる書架があります。蔵書の約3分の2はイタリア語の書籍で、特に文学・歴史・美術関連が揃います。日本語の書籍には、旅行ガイド、料理本、語学教材、芸術・建築関連など、イタリア好きでなくとも楽しめる分野の書籍が多いです。新聞・雑誌は、隣接するコーヒーコーナーで閲覧可能。(有料エスプレッソマシーンあり)イタリア語の会話も聞こえてきて、気分はまさにイタリア!

イタリア・アンデルセン賞 1982-2009 ~イタリアの絵本とこどもの本~

イタリア児童文学界で最も権威のある「イタリア・アンデルセン賞」の受賞作品やその関連作品など、約330点の絵本と原画がやってきました。絵本好きの方、イラストやデザインを勉強している方は必見です!
日時 2009年6月10日~7月5日 11:00~18:00(日休、他不定休)
場所 イタリア文化会館エキジションホール ※入場無料



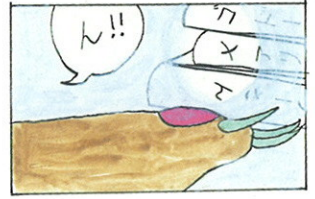
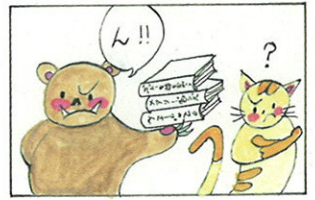
©Abbecedario 2003



©Sophie Fatus

森の図書館 Biblioteko en Arbaro

作: 小林エリカ KOBAYASHI Erika
しげ ん が



千代田区のイタリア文化会館 図書室 & フェデリコ・ガルシア・ロルカ図書館 紹介

千代田区には区立図書館、大学図書館、専門図書館など、多種多様な図書館があります。今回ご紹介するのは「コンシェルジュがゆく」でも取り上げる番町地区の専門図書館(室)で、外国語が飛び交う異国空間に知的な好奇心と学習意欲が刺激されます! 同じ建物内にギャラリーやホール、レストランなどもあり、建物まるごと楽しめるので、一度足を運んでみてください。



図書室内では、絵本の読み聞かせやスペイン語圏文化について学ぶイベントなども開催されています。

スペイン政府組織「セルバンテス文化センター東京」の6階にあり、誰でも自由に閲覧できます。開館からまだ間もない新しい図書館です。スペイン文学の訳本のほか、フラメンコ関連書籍も多く、スペイン語学習本を探すなら書店よりこちらに来る方が断然早そう。スペイン語の書籍は、絵本、児童書、語学教材、研究者向けの専門書まで幅広い蔵書構成。スペイン語だけでなくバルセロナの公用語であるカタルーニャ語のほか、バスク語、ガリシア語の本もあり、スペインに限らず中南米などスペイン語圏全般について知ることが出来ます。全世界70以上に拠点があるセンター間での蔵書確認や本の取り寄せ、レファレンス回答のための体制を強化中とのこと。蔵書数も今後増やしていくそうで、これからも目が離せない図書館です。

フェデリコ・ガルシア・ロルカ図書館

住所	六番町2-9 セルバンテスビル6F
交通	麹町駅5・6番出口より徒歩3分
時間	火・金11:30~19:45/土10:30~17:30 ※13:30~14:30は入館不可
休館	日・月
閲覧	無料(登録不要)/開架式(一部閉架)
貸出	センター在学者は無料、それ以外の方は 要登録(一般・年間4千円) 図書・録音・映像計3点2週間
書籍	約8千点(日本語300点/スペイン語他7600点)
その他	CD、CD-ROM約650点 DVD600タイトル以上
席数	40席(AV資料視聴用8席を含む)
問合せ	03-5210-1800(代表)

お宝本紹介

千代田図書館の閉架書庫にある貴重な資料をご紹介します。

『田健治郎伝[でんけんじろうでん]』

昭和7(1932)年 田健治郎伝記編纂会(会長:内田嘉吉)編集・出版



「田男爵と月下美人草」

田健治郎は、珍花「月下美人」の名付け親でもある。

明治末頃から伝記編纂が政官財界の有名な人頭彰に不可欠と考えられるようになり、大部の伝記が編まれるようになった。田健治郎(1855-1930)は明治から昭和初期にかけて活躍した官僚政治家で、その政治力で政官界に重きをなした。当館にその蔵書が残る内田嘉吉(1866-1933)の通信省の先輩にあたり、田が台湾総督を退任する際、後任に内田を推薦し、田の伝記編纂の取り纏めを内田が行うなど、二人の縁は深かった。本書は、編年で生涯を綴り、写真や年譜、縁ある人々の談話が付けられるという、当時の典型的な伝記の体裁を示している。史料価値が高い田の日記をそのまま引用している点も注目される。

？ インフォメーション

お知らせ

●「自動貸出機」と「セキュリティゲート」を設置しました。

・自動貸出機

カウンターに並ばずに、本の貸出ができます。画面の指示に従ってご利用ください。操作方法が分からない場合は、スタッフまでお気軽にお声がけください。
※貸出冊数の上限を超えている場合や、禁帯出本が含まれている場合はエラー画面になり、レシートが出てきますので、メインカウンターでお手続きください。

<設置場所>

9階
メインカウンター左側……………1台
コンシェルジュブース向かい側…2台
10階
児童書コーナー……………1台



自動貸出機

・セキュリティゲート

貸出処理がお済みでない資料を持ってゲートの前をお通りになると、警告音が鳴ります。館内を移動される際は、エレベーター前の通路ではなく、AVブース側や展示ウォール側、またはトイレ前をお通りください。

<設置場所>

9階 エレベーター前通路両側
10階 出入口

●「大人も一緒に紙芝居鑑賞」を始めました。

子どもはもちろん、大人も楽しめる紙芝居を行っています。どなたもお気軽にご参加ください。

場所……………千代田図書館 10階=子ども室
日時……………毎月第2土曜日 11:00～12:00

●「千代田Web図書館」の蔵書が増えました。

「千代田Web図書館」はインターネット上で電子図書の貸出・返却ができます。千代田区内在住・在勤・在学の方で、千代田区立図書館の利用登録がお済みの方は、どなたでもご利用できます。3Dブックなど新しいタイプの電子図書も入り、現在約4,300タイトルが貸出できます。(09年3月1日現在)



●「ちよびたメール」にご登録ください。

興味のある分野・作家名などを登録すると、登録内容に合う新着図書情報や、イベント・セミナー情報がメールで届きます。ホームページ内の「ご利用状況照会」で、あなたにぴったりの条件をご登録ください。

ご利用案内

■千代田図書館

03-5211-4289・4290
開館時間 [月～金]10:00～22:00
[土]10:00～19:00
[日・祝・12/29～12/31]10:00～17:00
休館日 第4日曜日/1月1日～1月3日/特別整理期間

■四番町図書館

03-3239-6357
開館時間 [月～金]9:00～20:00
[土]9:00～19:00
[日・祝・12/29・30]9:00～17:00
休館日 第1日曜日/12月31日/1月1日～1月3日/特別整理期間

■昌平まちかど図書館

03-3251-5641
開館時間 [日～土]9:00～20:00
[12/29・30]9:00～17:00
休館日 第2日曜日/12月31日/
1月1日～1月3日/特別整理期間

■神田まちかど図書館

03-3256-6061
開館時間 [日～土]9:00～20:00
[12/29・30]9:00～17:00
休館日 第3日曜日/12月31日/
1月1日～1月3日/特別整理期間

■ちよだパークサイドプラザ区民図書室

03-3864-8931
開館時間 [月～土]9:00～19:00
[日・祝]9:00～17:00
休館日 第3日曜日/特別整理期間/年末年始

■千代田区男女共同参画センター

MIW(ミュウ)情報ライブラリ
03-5211-8845
開館時間 [月～金]9:00～21:00
[土]9:00～17:00
休館日 日曜日/祝日/特別整理期間/年末年始

ご利用について

- ・千代田区内在住・在勤を問わず、どなたでもご利用できます。図書等を借りるには、「貸出券」が必要です。ご住所とお名前が確認できるもの(健康保険証、免許証、学生証など)をお持ちください。
- ・「貸出券」は千代田区内のすべての区立図書館(室)で使えます。「貸出券」は大切に管理してください。

貸出数(全館合計)

※2009年4月1日現在の情報です。

	区内在住者	区外在住者	
図書/紙芝居/雑誌	10冊2週間	5冊2週間	予約がない場合に限り、貸出期間内に1回のみ1週間延長することができます。返却期限の当日までにご連絡ください。
CD/カセットテープ など	3点2週間	3点2週間	
DVD/ビデオ など	2点2週間	2点2週間	



さあ、図書館にいこう。

千代田区立千代田図書館

〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所9・10F
TEL:03-5211-4289・4290
http://www.library.chiyoda.tokyo.jp http://mobile.library.chiyoda.tokyo.jp

アクセス 東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下」駅下車4番または6番出口から徒歩5分



携帯に簡単アクセス

